

科目名	キャリア教育(1)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員 神崎優 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、プロミュージシャンとして必要な「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。					
到達目標	1年間のキャリア教育を通して、アーティスト・プロミュージシャンとして仕事をしていく上で必要な人間力を養い、自らがリーダーとなり、主体的に行動をできるようにする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
2	4月27日	講義・演習	教室の使用法・ITリテラシー・仲間作りのアクティビティ	ワークシート
3	5月11日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
4	5月18日	講義・演習	オーディションシートの作成	ワークシート
5	5月25日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
6	6月1日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
7	6月8日	講義・演習	職業紹介・アクティビティ	ワークシート
8	6月15日	講義・演習	セッティング図を学ぶ・アクティビティ	ワークシート
9	6月22日	講義・演習	メールマナーを学ぶ・アクティビティ	ワークシート
10	6月29日	講義・演習	ビジネス講座・アクティビティ	ワークシート
11	7月6日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
12	7月13日	講義・演習	ビジョンと目的について学ぶ・アクティビティ	ワークシート
13	8月24日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
ワークシート				

科目名	キャリア教育(2)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員 神崎優 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、プロミュージシャンとして必要な「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。					
到達目標	1年間のキャリア教育を通して、アーティスト・プロミュージシャンとして仕事をしていく上で必要な人間力を養い、自らがリーダーとなり、主体的に行動をできるようにする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	後期の過ごし方について・アクティビティ	ワークシート
2	10月12日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
3	10月19日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
4	10月26日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
5	11月2日	講義・演習	オーディション対策	ワークシート
6	11月16日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
7	11月23日	講義・演習	ビジョンと目的目標の再確認・アクティビティ	ワークシート
8	11月30日	講義・演習	セッティング図を学ぶ・アクティビティ	ワークシート
9	12月7日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
10	12月14日	講義・演習	冬休みの過ごし方・2年生への準備について・アクティビティ	ワークシート
11	12月21日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
12	1月11日	講義・演習	SNSについて学ぶ・アクティビティ	ワークシート
13	1月18日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】 □ ワークシート				

科目名	キャリア教育(3)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員 神崎優 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、プロミュージシャンとして必要な「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。					
到達目標	1年間のキャリア教育を通して、アーティスト・プロミュージシャンとして仕事をしていく上で必要な人間力を養い、自らがリーダーとなり、主体的に行動をできるようにする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	教室の使用方法・ITリテラシー	ワークシート
2	4月28日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
3	5月12日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
4	5月19日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションに向けて	ワークシート
5	5月26日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションに向けて	ワークシート
6	6月2日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
7	6月9日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
8	6月16日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
9	6月23日	講義・演習	ビジネス講座	ワークシート
10	6月30日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
11	7月7日	講義・演習	ビジョンと目的について学ぶ・アクティビティ	ワークシート
12	7月14日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
13	8月25日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
ワークシート				

科目名	キャリア教育(4)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員 神崎優 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、プロミュージシャンとして必要な「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。					
到達目標	キャリア教育を通して、プレゼンテーション能力・チームワークでの作業を学び、人間力と共に3年制として学んだ技能も生かしつつ、エンターテインメント業界の視野を広げて業界の即戦力となるようにする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	後期の過ごし方について・アクティビティ	ワークシート
2	10月13日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
3	10月20日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
4	10月27日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
5	11月3日	講義・演習	ライフプランニングについて学ぶ	ワークシート
6	11月17日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
7	11月24日	講義・演習	プレゼンテーション	ワークシート
8	12月1日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
9	12月8日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
10	12月15日	講義・演習	冬休みの過ごし方・卒業への準備について	ワークシート
11	1月12日	講義・演習	ビジョンと目的目標の再確認・アクティビティ	ワークシート
12	1月19日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
13	2月2日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】 □ ワークシート				

科目名	SPL(1) SPL(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	少人数制のセミプライベートレッスン。各学生からの質問を中心に授業を進行する						
到達目標	課題を自主的に発見し、クリアする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
2	5月9日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
3	5月16日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
4	5月23日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
5	5月30日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
6	6月6日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
7	6月13日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
8	6月20日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
9	6月27日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
10	7月4日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
11	7月11日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
12	7月18日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
13	8月22日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
準備学習 時間外学習		音楽についての研究		
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名	SPL(1) Instrumental Studay(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	少人数制のセミプライベートレッスン。各学生からの質問を中心に授業を進行する						
到達目標	課題を自主的に発見し、クリアする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
2	5月9日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
3	5月16日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
4	5月23日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
5	5月30日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
6	6月6日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
7	6月13日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
8	6月20日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
9	6月27日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
10	7月4日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
11	7月11日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
12	7月18日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
13	8月22日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
準備学習 時間外学習		音楽についての研究		
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名	SPL(2) SPL(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	少人数制のセミプライベートレッスン。各学生からの質問を中心に授業を進行する						
到達目標	課題を自主的に発見し、クリアする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
2	10月12日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
3	10月19日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
4	10月26日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
5	11月2日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
6	11月16日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
7	11月23日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
8	11月30日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
9	12月7日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
10	12月14日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
11	12月21日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
12	1月11日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
13	1月18日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して現場に必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して現場に必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
準備学習 時間外学習			音楽についての研究	
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名	SPL(2) Instrumental Studay(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	少人数制のセミプライベートレッスン。各学生からの質問を中心に授業を進行する						
到達目標	課題を自主的に発見し、クリアする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
2	10月12日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
3	10月19日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
4	10月26日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
5	11月2日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
6	11月16日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
7	11月23日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
8	11月30日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
9	12月7日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
10	12月14日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
11	12月21日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
12	1月11日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
13	1月18日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
準備学習 時間外学習			音楽についての研究	
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名	Berklee Ensemble(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICGSメンバーとして様々なコンサート、イベント、Rec参加。多方面で活躍中。						
授業の学習 内容	課題曲を選定し、ブルース、ジャズ、ラテン、ポップスなど多くのジャンルの楽曲を通し、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。						
到達目標	パークリー音楽大学の試験対策を目的とし、多くのジャンルでの演奏技術・アンサンブル知識を習得することを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	課題曲1を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
2	5月9日	講義・演習	課題曲2を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
3	5月16日	講義・演習	課題曲3を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
4	5月23日	講義・演習	課題曲4を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
5	5月30日	講義・演習	課題曲5を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
6	6月6日	講義・演習	課題曲6を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
7	6月13日	講義・演習	課題曲7を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
8	6月20日	講義・演習	課題曲8を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
9	6月27日	講義・演習	課題曲9を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
10	7月4日	講義・演習	課題曲10を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
11	7月11日	講義・演習	課題曲11を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
12	7月18日	講義・演習	課題曲12を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
13	8月22日	講義・演習	課題曲13を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
準備学習 時間外学習			事前に配布される資料の予習を行う。授業で学んだことを復習し、次の授業に備える。1日1時間程度。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
配布資料・音源				

科目名	Berklee Ensemble(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICGSメンバーとして様々なコンサート、イベント、Rec参加。多方面で活躍中。						
授業の学習 内容	課題曲を選定し、ブルース、ジャズ、ラテン、ポップスなど多くのジャンルの楽曲を通し、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。						
到達目標	パークリー音楽大学の試験対策を目的とし、多くのジャンルでの演奏技術・アンサンブル知識を習得することを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	課題曲15を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ譜面や初見演奏の対策を身に着ける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
2	10月10日	講義・演習	課題曲16を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ譜面や初見演奏の対策を身に着ける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
3	10月17日	講義・演習	課題曲17を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ譜面や初見演奏の対策を身に着ける	予習
4	10月24日	講義・演習	課題曲18を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ譜面や初見演奏の対策を身に着ける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
5	10月31日	講義・演習	課題曲19を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ譜面や初見演奏の対策を身に着ける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
6	11月7日	講義・演習	課題曲20を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ譜面や初見演奏の対策を身に着ける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
7	11月14日	講義・演習	課題曲21を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ譜面や初見演奏の対策を身に着ける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
8	11月21日	講義・演習	課題曲22を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ譜面や初見演奏の対策を身に着ける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
9	11月28日	講義・演習	課題曲23を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ譜面や初見演奏の対策を身に着ける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
10	12月5日	講義・演習	課題曲24を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ譜面や初見演奏の対策を身に着ける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
11	12月12日	講義・演習	課題曲25を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ譜面や初見演奏の対策を身に着ける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
12	12月19日	講義・演習	課題曲26を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ譜面や初見演奏の対策を身に着ける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
13	1月9日	講義・演習	課題曲27を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ譜面や初見演奏の対策を身に着ける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
配布資料・音源				

科目名	Musician's IT(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽家のみならず社会人として必要なビジネスメールのマナーや音源・映像データの知識、iPad proまたはMac Bookを使用して自身の宣伝フライヤーの制作やパフォーマンス動画の編集のやり方を学びます。						
到達目標	アーティストとして音源やセット図等のデータをやり取りする事ができる。自信の宣伝フライヤーや映像資料を制作し、SNSに発信する事ができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	自己紹介 / これからのアーティストを考える	事前にiPad Pro、Macbookをセットアップしておく
2	5月9日	講義・演習	ビジネスメールの基礎 / 音源基礎	普段の生活からメールのマナーを意識しましょう
3	5月16日	講義・演習	セット図の書き方 / 宣伝フライヤー基礎	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
4	5月23日	講義・演習	宣伝フライヤーの作成	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
5	5月30日	講義・演習	GarageBandを使って楽曲制作	オリジナルの曲作りに励みましょう
6	6月6日	講義・演習	音源編集のやり方と楽曲の共有方法	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
7	6月13日	講義・演習	動画編集基礎	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
8	6月20日	講義・演習	動画編集実践 / 効果音・テロップ	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
9	6月27日	講義・演習	YouTubeアカウント作成 / サムネイル制作	自分の演奏動画をアップしてみましょう
10	7月4日	講義・演習	画像の切り抜き / リサイズ	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
11	7月11日	講義・演習	オリジナル宣伝フライヤーの作成	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
12	7月18日	講義・演習	プレゼン資料の作成	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
13	8月22日	講義・演習	2年次にむけての講義	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してコンテンツ作成を学ぶ	コンテンツ作成作業
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通してコンテンツ作成を学ぶ	コンテンツ作成作業
準備学習 時間外学習			コンテンツの素材収集	
【使用教科書・教材・参考書】				
iPad				

科目名	Musician's IT(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	自分でコンテンツを作って投稿する事が当たり前となってきた今日、自分の強みとは何かを考えSNS・YouTubeアカウントに”統一感”を出していくブランディングを学びます。						
到達目標	携帯やiPad・カメラ機材を用いて自分でコンテンツ制作を行い、SNSの特徴などを分析して投稿することができる。自身の強みを理解しSNS・YouTubeアカウントをブランディングすることができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	イベントを通してコンテンツ作成を行う	コンテンツ作成作業
2	10月10日	講義・演習	イベントを通してコンテンツ作成を行う	コンテンツ作成作業
3	10月17日	講義・演習	自分の強み・ブランディングとは何か	コンテンツ研究を行う。
4	10月24日	講義・演習	様々な動画を見て分析	自分のSNSやYouTubeも分析してみましょう
5	10月31日	講義・演習	YouTube動画撮影・編集	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
6	11月7日	講義・演習	YouTube動画編集・書き出し	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
7	11月14日	講義・演習	動画撮影テクニック / トランジション	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
8	11月21日	講義・演習	動画撮影テクニック / グリーンバック	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
9	11月28日	講義・演習	トレーラー映像作成	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
10	12月5日	講義・演習	宣伝動画撮影・編集	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
11	12月12日	講義・演習	自分プレゼンテーション1 / 準備	プレゼン資料の作成・コンテンツの準備
12	12月19日	講義・演習	自分プレゼンテーション2 / 発表	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
13	1月9日	講義・演習	カメラの扱い方・動画編集ソフトについて	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通してコンテンツ作成を学ぶ	コンテンツ作成作業
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してコンテンツ作成を学ぶ	コンテンツ作成作業
準備学習 時間外学習			コンテンツの素材収集	
【使用教科書・教材・参考書】				
iPad				

科目名	音楽史(3)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中町俊自
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ジャズの歴史を時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のジャズがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1)各時代のジャズのスタイルの違いを説明できること。 2)ジャズと他ジャンルの音楽との関係性を知ること。 3)有名な曲の歴史的意義を知る。 4)各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	ジャズ史概観 この授業で何を学べるのか	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	4月24日	講義・演習	ルイ・アームストロング ジャズの誕生	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	5月8日	講義・演習	デューク・エリントンビッグ・バンドの時代	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	5月15日	講義・演習	グレン・ミラー ビッグ・バンドの広がり	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	5月22日	講義・演習	チャーリー・パーカー ビバップの始まりと進化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	5月29日	講義・演習	「クール」の誕生	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	6月5日	講義・演習	マイルズ・デイヴィスと「モード」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	6月12日	講義・演習	オーネット・コールマンとフリージャズ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	6月19日	講義・演習	ジョン・コルトレーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	6月26日	講義・演習	マイルズ・デイヴィス「ビッチズ・ブルー」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	7月3日	講義・演習	ハービー・ハンコックとフュージョン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	7月10日	講義・演習	コンテンポラリー・ジャズ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	8月21日	講義・演習	ジャズ・ヴォーカリスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	8月28日	講義・演習	日本のジャズのあゆみ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	9月4日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習 時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
適宜、講師が用意。				

科目名	音楽史(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中町俊自
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ロックの歴史を時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のロックがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1)各時代のジャズのスタイルの違いを説明できること。 2)音楽との関係性を知ること。 3)有名な曲の歴史的意義を知る。 4)各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	ロック史の概観と2000年以降のロックシーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	10月9日	講義・演習	ロックの誕生～若者向けの商業音楽の成立	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	10月16日	講義・演習	エルヴィス・プレスリーの登場による社会の変化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	10月23日	講義・演習	ザ・ビートルズが起こした革命	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	10月30日	講義・演習	ボブ・ディランとフォークソング、フォークロック	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	11月6日	講義・演習	ソウル・ミュージックを学ぶ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	11月13日	講義・演習	「サージント・ペパーズ」が切り開いた世界を知る	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	11月20日	講義・演習	70年代へ続く道	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	11月27日	講義・演習	70年代、ロックの大衆化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	12月4日	講義・演習	パンクの登場	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	12月11日	講義・演習	MTVによる時代の変化とHIPHOPが生み出した新しいグルーヴ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	12月18日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	1月15日	講義・演習	90年代、グランジの時代／まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	1月29日	講義・演習	総まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	2月5日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習 時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	
【使用教科書・教材・参考書】 □ 適宜、講師が用意。				

科目名	ContemporaryMusicTheory(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICGSメンバーとして様々なコンサート、イベント、Rec参加。多方面で活躍中。						
授業の学習 内容	音楽に関わる仕事現場において日常的に用いられる用語、記号、表記の方法について講義、ワークブックを通じて学ぶ。						
到達目標	現代において音楽に関わる仕事に就くために必須となるボキャブラリー、記号、表記方法を学び作業現場で円滑なコミュニケーションを可能にする素養を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	音とは・鍵盤・音名・変化記号・五線・音部記号・譜表	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
2	4月28日	講義・演習	音符・休符・拍子・拍子記号	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
3	5月12日	講義・演習	曲の進行に関する記号等・略記法・速さや強さに関する記号・奏法に関する記号	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
4	5月19日	講義・演習	メジャー スケールと全音・半音	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
5	5月26日	講義・演習	マイナー スケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
6	6月2日	講義・演習	五度圏・調号・調関係	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
7	6月9日	講義・演習	インターバルの度数と名称	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
8	6月16日	講義・演習	転回・単音程・複音程・協和音程と不協和音程	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
9	6月23日	講義・演習	コードの定義・コード シンボル	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
10	6月30日	講義・演習	トライアードとその転回形	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
11	7月7日	講義・演習	セブンスコードとその転回形	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
12	7月14日	講義・演習	シックスコード・サスフォーコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
13	8月25日	講義・演習	ナチュラル テンションとその意味	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			テキスト、ワークブックを用いての予習・復習を中心とした自主学習。図書室に備えられている参考図書やiPadのアプリ等を利用した自主学習を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
テキスト、ワークブック				

科目名	ContemporaryMusicTheory(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICGSメンバーとして様々なコンサート、イベント、Rec参加。多方面で活躍中。						
授業の学習 内容	音楽に関わる仕事現場において日常的に用いられる用語、記号、表記の方法について講義、ワークブックを通じて学ぶ。						
到達目標	現代において音楽に関わる仕事に就くために必須となるボキャブラリー、記号、表記方法を学び作業現場で円滑なコミュニケーションを可能にする素養を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	メジャー ダイアトニック コード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
2	10月13日	講義・演習	ダイアトニックコードプログレッション・ケーデンス	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
3	10月20日	講義・演習	ダイアトニック コードのコード スケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
4	10月27日	講義・演習	プライマリードミナント・セカンダリードミナント	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
5	11月3日	講義・演習	セカンダリー ドミナントのコード スケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
6	11月17日	講義・演習	ディセプティブ リゾリューション	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
7	11月24日	講義・演習	ツー ファイブ・リレイティドツーファイブとそのスケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
8	12月1日	講義・演習	ハーモニック リズム	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
9	12月8日	講義・演習	エクステンディドミナント	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
10	12月15日	講義・演習	インターポレイティッド コード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
11	1月12日	講義・演習	ナチュラル マイナー スケールのダイアトニック コードとその機能	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
12	1月19日	講義・演習	ハーモニック マイナー・メロディック マイナーのダイアトニックコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
13	2月2日	講義・演習	マイナー ダイアトニック コードのコード スケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			テキスト、ワークブックを用いての予習・復習を中心とした自主学習。図書室に備えられている参考図書やiPadのアプリ等を利用した自主学習を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
テキスト、ワークブック				

科目名	MusicTheory(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 中澤頼子 渡辺由芽 小林由佳 正村恵 鈴木未夏
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、業界で共通の認識とされている楽譜の基礎知識が必要となる。本講義では、音楽理論といわれるそれらの内容について基礎から学び、卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。					
到達目標	音楽業界で飛びかう用語や楽譜の基礎知識を理解できるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	楽譜の歴史、五線譜、クレフ	五線譜の各部名称とクレフ、音名を復習する
2	5月10日	講義・演習	音名	五線に書かれた音符の音名と鍵盤の位置が一致出来るように復習する
3	5月17日	講義・演習	音符、休符	音符、休符の表し方と連符を復習する
4	5月24日	講義・演習	拍子、複合拍子	小節線、単純拍子、複合・混合拍子、タイについて復習する
5	5月31日	講義・演習	反復記号	反復記号を学び、音源を聴き楽譜を迫るようにする
6	6月7日	講義・演習	スコアリーディング	1w～5wまでの復習をし理解度を高める
7	6月14日	講義・演習	中間テスト	1w～5wまでの復習をし理解度を高める
8	6月21日	講義・演習	メジャースケール	メジャースケールの仕組みを復習する（#系メジャースケール）
9	6月28日	講義・演習	メジャースケール	5度圏を用い、調号を用いてスケールを書けるようにする（b系メジャースケール）
10	7月5日	講義・演習	記譜法、臨時記号	調号と臨時記号の区別、臨時記号の効力を学び正しい楽譜が書けるようにする
11	7月12日	講義・演習	テンポ、強弱記号	速度記号、速度標語、強弱記号を復習する
12	7月19日	講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
13	8月23日	講義・演習	まとめ、期末予備テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
14	8月30日	講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
15	9月6日	講義・演習	テスト返却、復習	楽譜を見てKeyや雰囲気をつかむことができるようにする
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
ゼロから始める音楽理論、「ゼロから始める音楽理論 ワークブック」 喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部				

科目名	MusicTheory(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 中澤頼子 渡辺由芽 小林由佳 正村恵 鈴木未夏
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、業界で共通の認識とされている楽譜の基礎知識が必要となる。本講義では、音楽理論といわれるそれらの内容について基礎から学び、卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。					
到達目標	音楽業界で飛びかう用語や楽譜の基礎知識を理解できるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	マイナースケール	マイナースケールの仕組みを理解し、調号を用いてナチュラルマイナースケールが書けるよう復習する
2	10月11日	講義・演習	マイナースケール	ハーモニックマイナー、メロディックマイナーの特徴を理解し、スケールが書けるよう復習する
3	10月18日	講義・演習	近親調	それぞれの調の関係性を理解し復習する
4	10月25日	講義・演習	移調	五線を用いて移調が出来るようになる
5	11月1日	講義・演習	奏法	省略記号、奏法記号、装飾記号を復習する
6	11月8日	講義・演習	スコアリーディング	1w~5wまでの復習をし、理解度を高める
7	11月15日	講義・演習	中間テスト	復習、テスト対策を行い中間テストに備える
8	11月22日	講義・演習	トライアド	コードの概念とトライアドの構造を理解し復習する
9	11月29日	講義・演習	7thコード	トライアドの知識を踏まえ、7thコードに発展させることが出来るようになる
10	12月6日	講義・演習	7thコードの復習とdim7	トライアド、7thコード、dimコードの構造を復習する
11	12月13日	講義・演習	その他のコード	add9、sus4、6thコードを復習する
12	12月20日	講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
13	1月10日	講義・演習	まとめ、期末予備テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
14	1月17日	講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
15	1月31日	講義・演習	テスト返却、総復習	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
ゼロから始める音楽理論、「ゼロから始める音楽理論 ワークブック」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部				

科目名	Ear Training(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 中澤頼子 渡辺由芽 小林由佳 正村恵 鈴木未夏
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、リズム感と音感が必要となる。本講義では聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き取り、実際に歌うなどしてソルフェージュの基礎を養う。卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。					
到達目標	聴こえる音やリズムを正しく判別できるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1	4月21日	講義・演習	音の歴史、モルース信号、周波数、効果音について知る リズム打ち・書き取り方について知る 音の高低の判定	配布された授業プリントのリズム書き取りを正確に叩けるようにする	
2	4月28日	講義・演習	4分音符、4分休符のリズム打ち 3拍子と4拍子のビート感覚を養う 2線紙を使って音の高低判定 2度音程を歌い音程感を身に付ける	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する	
3	5月12日	講義・演習	8分音符のリズム打ちと5線紙を使ってリズムの書き取り 3線紙を使って音の高低判定	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する	
4	5月19日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符のリズム打ち、リズムの書き取り、5線紙を使ってメロディーの書き取り 音程(全音と半音の区別)	配布された授業プリントのリズム打ちやメロディー書き取り、音程を復習する	
5	5月26日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱 音程(1.2.3.8度、#♭なし)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
6	6月2日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱ができる 音程(1.2.3.8度、#♭あり)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
7	6月9日	講義・演習	中間テスト	今までの内容を復習し次回の授業に備える	
8	6月16日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱 音程(4.5度#♭なし)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
9	6月23日	講義・演習	8分休符(裏打ち)のリズム打ち、書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱 音程(1~5度8度、#♭あり) トライトーン	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
10	6月30日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 音程(1~5度、8、6度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
11	7月7日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 音程(1~8度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
12	7月14日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱、Major、minorのコード判定、音程(1~8度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
13	8月25日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
14	9月1日	講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える	
15	9月8日	講義・演習	テスト返却、総復習	復習	
準備学習 時間外学習			前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える		
【使用教科書・教材・参考書】 □					
ゼロから始める音楽理論、「ゼロから始める音楽理論 ワークブック」 喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部					

科目名	Ear Training(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 中澤頼子 渡辺由芽 小林由佳 正村恵 鈴木未夏
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、リズム感と音感が必要となる。本講義では聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き取り、実際に歌うなどしてソルフェージュの基礎を養う。卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。					
到達目標	聴こえる音やリズムを正しく判別できるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1	10月6日	講義・演習	ET I で習ったリズム打ち・書き取り、マイナーkeyの視唱、CMajorのメロディー書き取り、Major,Minorのコード聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する	
2	10月13日	講義・演習	3連符のリズム打ち・書き取り、マイナーkeyの視唱、CMajor,CMinorのメロディー書き取り、コードの聴き分け(C,G,F)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する	
3	10月20日	講義・演習	リズム打ち、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り(臨時記号付き)、マイナーkeyの視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する	
4	10月27日	講義・演習	リズム打ち、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り(臨時記号付き)、マイナーkeyの視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する	
5	11月3日	講義・演習	タイの付いたリズム打ち、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する	
6	11月17日	講義・演習	タイの付いたリズム打ち、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する	
7	11月24日	講義・演習	中間テスト	今までの内容を復習し次回の授業に備える	
8	12月1日	講義・演習	6/8拍子・タイの付いたリズム打ち、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、ベース(F-clef)のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する	
9	12月8日	講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、ベース(F-clef)のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する	
10	12月15日	講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、ベース(F-clef)のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する	
11	1月12日	講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、メロディー書き取り、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、大譜表のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する	
12	1月19日	講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、メロディー書き取り、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、大譜表のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する	
13	2月2日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する	
14	2月9日	講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える	
15	2月16日	講義・演習	テスト返却、総復習	復習	
準備学習 時間外学習			前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える		
【使用教科書・教材・参考書】 □					
ゼロから始める音楽理論、「ゼロから始める音楽理論 ワークブック」 喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部					

科目名	Expression A(3) Gt Melodic Concept(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	坪沼和寛
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	メロディック・コンセプト1で習得した技術と知識をベースに、 アプローチのバリエーションとトレーニングを行い、オリジナル・スタイルでのプレイを目指す。						
到達目標	ポピュラー、R&B、ジャズ、ロックなどでよく使われる一般的なコード進行でソロを弾けるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	2 of us進行 ドリアン・アプローチの理解と実践	vii-v-i-bVII-bIII7進行でソロ練習
2	5月9日	講義・演習	B Bossa(1) マイナーii-V	i-iv-ii-v(key=Cm)進行でソロ練習
3	5月16日	講義・演習	B Bossa(2) キー・チェンジの練習	ii-V-I(key=Eb)進行でソロ練習
4	5月23日	講義・演習	TeeUp(1) コンビニングとベースライン	II-V-I(key=D)進行でソロ練習
5	5月30日	講義・演習	TeeUp(2) ウォーキングベースとの コンビネーション	II-V-I(key=Bb)進行でソロ練習
6	6月6日	講義・演習	greater love(1) ペントニック・アプローチ	ii-v-i(key=Gm)進行でソロ練習
7	6月13日	講義・演習	greater love(2) ディミニッシュ・アプローチ	ii-v-i(key=Dm)進行でソロ練習
8	6月20日	講義・演習	Stella(1) m7b5のアプローチ	Valt-i(key=Cm)進行でソロ練習
9	6月27日	講義・演習	Stella(2) オルタードにフォーカスする	bIII-ii-v-i(key=Eb)進行でソロ練習
10	7月4日	講義・演習	another you(1) ハイブリッド・ペントニック	II7-II-V-I(key=Eb)進行でソロ練習
11	7月11日	講義・演習	another you(1) ハイブリッド・ペントニック2	II7-II-V-I(key=Eb)進行でソロ練習
12	7月18日	講義・演習	Dolphin ST(1) M3, m3切り替え	Imaj7-Im7(key=C)進行でソロ練習
13	8月22日	講義・演習	Dolphin ST(2) 7thコードの転回形のアプローチ	II7/I-bII/I(key=C)進行でソロ練習
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	スケールの復習
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	スケールの復習
準備学習 時間外学習			毎日決まった時間(30分～)で練習する	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
資料は授業内で配布。iPadなどで閲覧し注釈を加えます。				

科目名	Expression A(3) Bass Line Concept(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	坪沼和寛
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	様々な楽曲に対応し、的確で優れたベースラインを創造し演奏出来るように、多岐にわたるジャンルのベースラインを実習する。多様なコードやスケールとそれらを使用したフレージングについて実習する。						
到達目標	1、様々なグルーブのベースラインを分析し、演奏出来るようになること。 2、代理コードの概念を理解し、正しくフレージング出来るようになること。 3、様々なコード進行に対し、適正なアルペジオとスケールを設定出来るようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	8ビートのリズムパターン、ドラムとのコンビネーションを意識したベースラインが演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
2	4月28日	講義・演習	分析と移調の重要性を把握し、フレーズを様々なキーで演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
3	5月12日	講義・演習	アーティキュレーション、ニュアンスによる印象の変化を意識して演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
4	5月19日	講義・演習	16ビートのリズムパターンとそのヴァリエーションを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
5	5月26日	講義・演習	セカンダリードミナントの機能を理解し、適正なアルペジオとスケールが演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
6	6月2日	講義・演習	シャッフルのリズムパターンとそのヴァリエーションを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
7	6月9日	講義・演習	分数コードやクリシェの機能を理解し、適正なアルペジオとスケールが演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
8	6月16日	講義・演習	様々な拍子のベースラインを分析し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
9	6月23日	講義・演習	拍子の細分化を理解し、奇数拍子のベースラインを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
10	6月30日	講義・演習	サンバ/ボサノヴァのベースラインを分析し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
11	7月7日	講義・演習	レゲエのベースラインを分析し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
12	7月14日	講義・演習	マンボなどのラテン系ベースラインを分析し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
13	8月25日	講義・演習	前期のまとめと確認、評価。	チャプター内のエクササイズの復習。
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習と復習
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習と復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □ ベースラインコンセプト教科書				

科目名	SPL(3) SPL(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	少人数制のセミプライベートレッスン。各学生からの質問を中心に授業を進行する						
到達目標	課題を自主的に発見し、クリアする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
2	5月9日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
3	5月16日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
4	5月23日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
5	5月30日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
6	6月6日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
7	6月13日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
8	6月20日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
9	6月27日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
10	7月4日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
11	7月11日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
12	7月18日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
13	8月22日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
準備学習 時間外学習		音楽についての研究		
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名	SPL(3) Instrumental Study(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	少人数制のセミプライベートレッスン。各学生からの質問を中心に授業を進行する						
到達目標	課題を自主的に発見し、クリアする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
2	5月9日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
3	5月16日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
4	5月23日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
5	5月30日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
6	6月6日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
7	6月13日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
8	6月20日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
9	6月27日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
10	7月4日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
11	7月11日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
12	7月18日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
13	8月22日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通して現場で必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
準備学習 時間外学習		音楽についての研究		
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名	SPL(4) SPL(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	少人数制のセミプライベートレッスン。各学生からの質問を中心に授業を進行する					
到達目標	課題を自主的に発見し、クリアする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
2	10月12日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
3	10月19日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
4	10月26日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
5	11月2日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
6	11月16日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
7	11月23日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
8	11月30日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
9	12月7日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
10	12月14日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
11	12月21日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
12	1月11日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
13	1月18日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して現場に必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して現場に必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
準備学習 時間外学習			音楽についての研究	
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名	SPL(4) Insttrumtal Study(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	少人数制のセミプライベートレッスン。各学生からの質問を中心に授業を進行する						
到達目標	課題を自主的に発見し、クリアする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
2	10月12日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
3	10月19日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
4	10月26日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
5	11月2日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
6	11月16日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
7	11月23日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
8	11月30日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
9	12月7日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
10	12月14日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
11	12月21日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
12	1月11日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
13	1月18日	講義・演習	音楽理論、作詞作曲、楽器知識、音楽知識	質問の用意
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して現場に必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して現場に必要な技術を学ぶ	課題曲の予習復習
準備学習 時間外学習			音楽についての研究	
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名	Rock&Pops Ensemble A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習 内容	Rock,Popsの楽曲のアンサンブルを通しての、技術の向上、楽曲音楽の理解、その他音楽全般の全てについて						
到達目標	プロフェッショナルの現場に向けての準備、自己表現、アートとしての音楽表現について考えられるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	課題曲#1、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
2	5月10日	講義・演習	課題曲#1、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
3	5月17日	講義・演習	課題曲#2、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
4	5月24日	講義・演習	課題曲#2、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
5	5月31日	講義・演習	課題曲#3、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
6	6月7日	講義・演習	課題曲#3、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
7	6月14日	講義・演習	課題曲#4、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
8	6月21日	講義・演習	課題曲#4、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
9	6月28日	講義・演習	課題曲#5、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
10	7月5日	講義・演習	課題曲#5、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
11	7月12日	講義・演習	課題曲#6、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
12	7月19日	講義・演習	課題曲#6、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
13	8月23日	講義・演習	課題曲#7、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
準備学習 時間外学習			個人練習・各アーティストやRock,Popsの成り立ちについて理解し、良いLiveを体感すること	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
Rock&Pops Ensemble(3)				

科目名	Rock&Pops EnsembleA(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習 内容	Rock,Popsの楽曲のアンサンブルを通しての、技術の向上、楽曲音楽の理解、その他音楽全般の全てについて						
到達目標	プロフェッショナルの現場に向けての準備、自己表現、アートとしての音楽表現について考えられるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	課題曲#1、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
2	10月11日	講義・演習	課題曲#1、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
3	10月18日	講義・演習	課題曲#2、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
4	10月25日	講義・演習	課題曲#2、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
5	11月1日	講義・演習	課題曲#3、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
6	11月8日	講義・演習	課題曲#3、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
7	11月15日	講義・演習	課題曲#4、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
8	11月22日	講義・演習	課題曲#4、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
9	11月29日	講義・演習	課題曲#5、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
10	12月6日	講義・演習	課題曲#5、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
11	12月13日	講義・演習	課題曲#6、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
12	12月20日	講義・演習	課題曲#6、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
13	1月10日	講義・演習	課題曲#7、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
準備学習 時間外学習			個人練習・各アーティストやRock,Popsの成り立ちについて理解し、良いLiveを体感すること	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
Rock&Pops Ensemble(4)				

科目名	Rock&Pops EnsembleA(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習 内容	Rock,Popsの楽曲のアンサンブルを通しての、技術の向上、楽曲音楽の理解、その他音楽全般の全てについて						
到達目標	プロフェッショナルの現場に向けての準備、自己表現、アートとしての音楽表現について考えられるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	課題曲#1、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
2	5月10日	講義・演習	課題曲#1、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
3	5月17日	講義・演習	課題曲#2、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
4	5月24日	講義・演習	課題曲#2、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
5	5月31日	講義・演習	課題曲#3、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
6	6月7日	講義・演習	課題曲#3、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
7	6月14日	講義・演習	課題曲#4、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
8	6月21日	講義・演習	課題曲#4、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
9	6月28日	講義・演習	課題曲#5、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
10	7月5日	講義・演習	課題曲#5、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
11	7月12日	講義・演習	課題曲#6、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
12	7月19日	講義・演習	課題曲#6、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
13	8月23日	講義・演習	課題曲#7、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
準備学習 時間外学習			個人練習・各アーティストやRock,Popsの成り立ちについて理解し、良いLiveを体感すること	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
Rock&Pops Ensemble(3)				

科目名	Rock&Pops EnsembleB(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブ・レコーディング活動を行う						
授業の学習 内容	Rock,Popsの楽曲のアンサンブルを通しての、技術の向上、楽曲音楽の理解、その他音楽全般の全てについて						
到達目標	プロフェッショナルの現場に向けての準備、自己表現、アートとしての音楽表現について考えられるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	課題曲#1、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
2	10月11日	講義・演習	課題曲#1、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
3	10月18日	講義・演習	課題曲#2、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
4	10月25日	講義・演習	課題曲#2、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
5	11月1日	講義・演習	課題曲#3、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
6	11月8日	講義・演習	課題曲#3、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
7	11月15日	講義・演習	課題曲#4、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
8	11月22日	講義・演習	課題曲#4、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
9	11月29日	講義・演習	課題曲#5、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
10	12月6日	講義・演習	課題曲#5、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
11	12月13日	講義・演習	課題曲#6、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
12	12月20日	講義・演習	課題曲#6、実習2、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
13	1月10日	講義・演習	課題曲#7、実習1、高い技術での演奏、周りの音を聴きより良いアンサンブルについて考えられるようになる	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通じてステージ上でのアンサンブル技術を学ぶ	課題曲の準備、インストラクションを受けた内容についての考察、練習
準備学習 時間外学習			個人練習・各アーティストやRock,Popsの成り立ちについて理解し、良いLiveを体感すること	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
Rock&Pops Ensemble(4)				

科目名	Ear Training(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 中澤頼子 渡辺由芽 小林由佳 正村恵 鈴木未夏
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。本講義では、実際に楽曲を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、現場で即戦力となる人材を育成する。					
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)		
1	4月19日	講義・演習	既習リズムを使ったリズム打ち・書き取り、6/8拍子のリズム打ち、メロディー書き取り(CMajor)、2声メロディー、音程ドリル	配布された授業プリントのリズム書き取りを正確に叩けるようにする		
2	5月10日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,Gを使って)、メロディー書き取り(Cminor、2声ハーモニー)、3度音程のハーモニー練習、音程ドリル	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する		
3	5月17日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,Gを使って)、メロディー書き取り(Cminor)、3度音程の2声ハーモニー書き取り、音程ドリル コードI、IV、Vの聴き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する		
4	5月24日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,Gを使って) メロディー書き取り(Aminor、2声メロディー) F4,P5,トライトーンのハーモニー練習 コードI、IV、Vの聴き取り	配布された授業プリントのリズム打ちやメロディー書き取り、音程を復習する		
5	5月31日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,Gを使って) メロディー書き取り(16分音符導入、Aminor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードI、IV、Vの聴き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する		
6	6月7日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,Gを使って) メロディー書き取り(Aminor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードI、IV、Vの聴き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する		
7	6月14日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次回の授業に備える		
8	6月21日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,G,Fを使って) メロディー書き取り(Aminor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードI、IV、Vの聴き取り、IV(II m)-V-Iの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する		
9	6月28日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(Aminor、2声メロディー) 6度音程のハーモニー練習 コードIV(II m)-V-Iの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する		
10	7月5日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(FMajor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードIV(II m)-V-Iの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する		
11	7月12日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(FMajor、2声メロディー) オクターブとユニゾンのハーモニー練習 コードIV(II m)-V-Iの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する		
12	7月19日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(FMajor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードIV(II m)-V-Iの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する		
13	8月23日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(FMajor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードIV(II m)-V-Iの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する		
14	8月30日	講義・演習	復習	総復習を行い中間テストに備える		
15	9月6日	講義・演習	中間テスト	総復習を行い中間テストに備える		
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える			
【使用教科書・教材・参考書】 □						
ゼロから始める音楽理論「喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部						

科目名	Ear Training(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 中澤頼子 渡辺由芽 小林由佳 正村恵 鈴木未夏
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。本講義では、実際に楽曲を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、現場で即戦力となる人材を育成する。					
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1	10月6日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.Fを使って) メロディー書き取り (GMajor, 2声メロディーは三連符導入、2声ハーモニーは2度音程導入)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する	
2	10月13日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.Fを使って) メロディー書き取り (GMajor, 6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードIV(II m)-V-I の聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する	
3	10月20日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.Fを使って) メロディー書き取り (GMajor, 6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードIV(II m)-V-I の聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する	
4	10月27日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.Fを使って) メロディー書き取り (GMajor, 6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードVI mを含む聴き分 け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する	
5	11月3日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.Fを使って) メロディー書き取り (GMajor, 6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードVI mを含む聴き分 け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する	
6	11月17日	講義・演習	曲を題材にしたリズム打ち、リズム書き取り、メロディー書き取り メロディー 書き取り(6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードVI mを含む聴き分 け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する	
7	11月24日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次回の授業に備える	
8	12月1日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.Fを使って) メロディー書き取り (Key:C.G.F.Am.Cm, 6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コード I、II m、IV、V、VI mの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する	
9	12月8日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.Fを使って) メロディー書き取り (Key:C.G.F.Am.Cm, 6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コード I、II m、IV、V、VI mの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する	
10	12月15日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.Fを使って) メロディー書き取り (Key:C.G.F.Am.Cm, 6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コード I、II m、IV、V、VI mの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する	
11	1月12日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.Fを使って)、メロディー書き取り (Key:C.G.F.Am.Cm, 6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コード I、II m、IV、V、VI mの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する	
12	1月19日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.Fを使って)、メロディー書き取り (Key:C.G.F.Am.Cm, 6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コード I、II m、IV、V、VI mの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する	
13	2月2日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する	
14	2月9日	講義・演習	期末テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する	
15	2月16日	講義・演習	テスト返却、総復習	聴こえる音やリズムを正しく楽譜に書き、コードの響きや種類を聴き分けられる	
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える		
【使用教科書・教材・参考書】 □					
ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部					

科目名	Berklee Ensemble(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICGSメンバーとして様々なコンサート、イベント、Rec参加。多方面で活躍中。						
授業の学習 内容	課題曲を選定し、ブルース、ジャズ、ラテン、ポップスなど多くのジャンルの楽曲を通し、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。						
到達目標	パークリー音楽大学の試験対策を目的とし、多くのジャンルでの演奏技術・アンサンブル知識を習得することを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	課題曲1を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
2	5月9日	講義・演習	課題曲2を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
3	5月16日	講義・演習	課題曲3を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
4	5月23日	講義・演習	課題曲4を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
5	5月30日	講義・演習	課題曲5を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
6	6月6日	講義・演習	課題曲6を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
7	6月13日	講義・演習	課題曲7を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
8	6月20日	講義・演習	課題曲8を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
9	6月27日	講義・演習	課題曲9を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
10	7月4日	講義・演習	課題曲10を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
11	7月11日	講義・演習	課題曲11を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
12	7月18日	講義・演習	課題曲12を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
13	8月22日	講義・演習	課題曲13を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	課題曲のアナライズと復習
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
準備学習 時間外学習			事前に配布される資料の予習を行う。授業で学んだことを復習し、次の授業に備える。1日1時間程度。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
配布資料・音源				

科目名	Berklee Ensemble(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATIC成员として様々なコンサート、イベント、Rec参加。多方面で活躍中。						
授業の学習 内容	課題曲を選定し、ブルース、ジャズ、ラテン、ポップスなど多くのジャンルの楽曲を通し、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ。						
到達目標	パークリー音楽大学の試験対策を目的とし、多くのジャンルでの演奏技術・アンサンブル知識を習得することを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	課題曲15を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
2	10月10日	講義・演習	課題曲16を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
3	10月17日	講義・演習	課題曲17を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	予習
4	10月24日	講義・演習	課題曲18を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
5	10月31日	講義・演習	課題曲19を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
6	11月7日	講義・演習	課題曲20を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
7	11月14日	講義・演習	課題曲21を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
8	11月21日	講義・演習	課題曲22を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
9	11月28日	講義・演習	課題曲23を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
10	12月5日	講義・演習	課題曲24を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
11	12月12日	講義・演習	課題曲25を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
12	12月19日	講義・演習	課題曲26を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
13	1月9日	講義・演習	課題曲27を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	事前配布資料を確認して予習、準備をしておく
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
配布資料・音源				

科目名	Musician's IT(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	パソコンを使いアーティストが自分の力で活動していくための、画像作成や動画編集スキルを身につけます。						
到達目標	Adobe Photoshop・Illustrator・Premiere Proの基礎を理解し、自身の活動に合わせたコンテンツ制作ができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	1年間の授業内容について / 自己紹介	事前にiPad Pro、Macbookをセットアップしておく
2	5月9日	講義・演習	動画撮影基礎・撮影機材に触れる	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
3	5月16日	講義・演習	Premiere Proを使ったクロップテクニック	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
4	5月23日	講義・演習	クロマキー素材を使った編集テクニック	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
5	5月30日	講義・演習	動画企画コンペ / 企画	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
6	6月6日	講義・演習	動画企画コンペ / 資料作成	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
7	6月13日	講義・演習	YouTubeサムネイル改善	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
8	6月20日	講義・演習	Photoshopで魅力的なアートワーク作成	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
9	6月27日	講義・演習	YouTube動画分析	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
10	7月4日	講義・演習	YouTube動画編集 / カット編集	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
11	7月11日	講義・演習	YouTube動画編集 / テロップ入れ	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
12	7月18日	講義・演習	YouTube動画編集 / SE入れ・書き出し	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
13	8月22日	講義・演習	期末テスト / 後期に向けて	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してコンテンツ作成を学ぶ	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通してコンテンツ作成を学ぶ	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Musician's IT(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	神崎優
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	卒業後も活動を続けていくための生配信・SNSマーケティング・コンテンツ制作を学びます。						
到達目標	スマホアプリやPCを使って生配信ができ、各種SNSに対応するコンテンツ制作ができ自身のポートフォリオを完成させる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	生配信基礎 / 機材に触れる	事前にiPad Pro、Macbookをセットアップしておく
2	10月10日	講義・演習	生配信実践 / ゲーム実況	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
3	10月17日	講義・演習	YouTube動画撮影	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
4	10月24日	講義・演習	YouTube動画撮影 / カット編集	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
5	10月31日	講義・演習	YouTube動画撮影 / テロップ入れ	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
6	11月7日	講義・演習	YouTube動画撮影 / 効果音・BGM	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
7	11月14日	講義・演習	YouTube動画撮影 / 書き出し・提出	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
8	11月21日	講義・演習	RECLした音声と映像を同期	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
9	11月28日	講義・演習	マルチカム編集	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
10	12月5日	講義・演習	2年次まとめ動画作成 / 企画	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
11	12月12日	講義・演習	2年次まとめ動画作成 / 編集	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
12	12月19日	講義・演習	2年次まとめ動画作成 / 資料作成	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
13	1月9日	講義・演習	年度末テスト / 卒業後について	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通してコンテンツ作成を学ぶ	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してコンテンツ作成を学ぶ	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	著作権(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	林達也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造(1)/日本のレコード産業・全体像	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	4月28日	講義・演習	音楽業界の構造(2)/日本レコード協会・JASRAC	教科書予習/配布授業資料復習
3	5月12日	講義・演習	著作権の基礎(1)概要/構造	教科書予習/配布授業資料復習
4	5月19日	講義・演習	著作権の基礎(2)歴史/現在	教科書予習/配布授業資料復習
5	5月26日	講義・演習	アーティストの権利/印税とは	教科書予習/配布授業資料復習
6	6月2日	講義・演習	収入シミュレーション(CD販売)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	6月9日	講義・演習	収入シミュレーション(ダウンロード/音楽配信)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	6月16日	講義・演習	日本におけるカラオケの歴史と市場/印税配分	教科書予習/配布授業資料復習
9	6月23日	講義・演習	著作権の保護期間/フェアユース/問題点など	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	6月30日	講義・演習	ミュージックビデオ/プロモーションビデオの歴史と成り立ち	教科書予習/配布授業資料復習
11	7月7日	講義・演習	レンタルCD市場の歴史と著作権	教科書予習/配布授業資料復習
12	7月14日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(1)	教科書予習/配布授業資料復習
13	8月25日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(2)	教科書予習/配布授業資料復習
14	9月1日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察	教科書予習/配布授業資料復習
15	9月8日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】 □ よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	著作権(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	林達也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造・応用編(1)	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	10月13日	講義・演習	音楽産業の構造・応用編(2)	教科書予習/配布授業資料復習
3	10月20日	講義・演習	著作権の必須知識/使える著作権	教科書予習/配布授業資料復習
4	10月27日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(1)	教科書予習/配布授業資料復習
5	11月3日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(2)	教科書予習/配布授業資料復習
6	11月17日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは?実例/具体例/判例など(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	11月24日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは?実例/具体例/判例など(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	12月1日	講義・演習	国際的な音楽活動/世界の音楽ビジネス事情	教科書予習/配布授業資料復習
9	12月8日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	12月15日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
11	1月12日	講義・演習	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷	教科書予習/配布授業資料復習
12	1月19日	講義・演習	変わりゆく著作権/時代と著作権との関係と問題点	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
13	2月2日	講義・演習	現在の音楽産業/これから10年後のビジネスモデル	教科書予習/配布授業資料復習
14	2月9日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察・応用編	教科書予習/配布授業資料復習
15	2月16日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】 □ よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	音楽史(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中町俊自
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ジャズの歴史を時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のジャズがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1)各時代のジャズのスタイルの違いを説明できること。 2)ジャズと他ジャンルの音楽との関係性を知ること。 3)有名な曲の歴史的意義を知る。 4)各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	ジャズ史概観 この授業で何を得るのか	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	4月24日	講義・演習	ルイ・アームストロング ジャズの誕生	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	5月8日	講義・演習	デューク・エリントンビッグ・バンドの時代	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	5月15日	講義・演習	グレン・ミラー ビッグ・バンドの広がり	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	5月22日	講義・演習	チャーリー・パーカー ビバップの始まりと進化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	5月29日	講義・演習	「クール」の誕生	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	6月5日	講義・演習	マイルズ・デイヴィスと「モード」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	6月12日	講義・演習	オーネット・コールマンとフリージャズ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	6月19日	講義・演習	ジョン・コルトレーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	6月26日	講義・演習	マイルズ・デイヴィス「ビッチズ・ブルー」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	7月3日	講義・演習	ハービー・ハンコックとフュージョン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	7月10日	講義・演習	コンテンポラリー・ジャズ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	8月21日	講義・演習	ジャズ・ヴォーカリスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	8月28日	講義・演習	日本のジャズのあゆみ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	9月4日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習 時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	
【使用教科書・教材・参考書】 □ 適宜、講師が用意。				

科目名	音楽史(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中町俊自
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ロックの歴史を時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のロックがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1)各時代のジャズのスタイルの違いを説明できること。 2)音楽との関係性を知ること。 3)有名な曲の歴史的意義を知る。 4)各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	ロック史の概観と2000年以降のロックシーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	10月9日	講義・演習	ロックの誕生～若者向けの商業音楽の成立	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	10月16日	講義・演習	エルヴィス・プレスリーの登場による社会の変化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	10月23日	講義・演習	ザ・ビートルズが起こした革命	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	10月30日	講義・演習	ボブ・ディランとフォークソング、フォークロック	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	11月6日	講義・演習	ソウル・ミュージックを学ぶ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	11月13日	講義・演習	「サージント・ペパーズ」が切り開いた世界を知る	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	11月20日	講義・演習	70年代へ続く道	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	11月27日	講義・演習	70年代、ロックの大衆化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	12月4日	講義・演習	パンクの登場	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	12月11日	講義・演習	MTVによる時代の変化とHIPHOPが生み出した新しいグルーヴ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	12月18日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	1月15日	講義・演習	90年代、グランジの時代／まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	1月29日	講義・演習	総まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	2月5日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習 時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	
【使用教科書・教材・参考書】 □ 適宜、講師が用意。				

科目名	Contemporary Music Theory(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICGSメンバーとして様々なコンサート、イベント、Rec参加。多方面で活躍中。						
授業の学習 内容	音楽に関わる演奏者、作曲・編曲を行う者に必要なハーモニー、及び音楽の仕組みについて講義、ワークブックを通じて学ぶ。						
到達目標	ContemporaryMusicTheory(2)で学んだ基本的な知識から踏み込んで、演奏者や制作者になるため、また彼らと密なコミュニケーションを可能にする素養を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	サブスティテュートドミナントコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
2	4月28日	講義・演習	サブスティテュートドミナントのコードスケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
3	5月12日	講義・演習	メジャーキーにおけるモーダル インターチェンジ ①	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
4	5月19日	講義・演習	メジャーキーにおけるモーダル インターチェンジ ②	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
5	5月26日	講義・演習	モーダル インターチェンジ コードのコードスケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
6	6月2日	講義・演習	モーダル インターチェンジ コードのアナライズ	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
7	6月9日	講義・演習	マイナー キーにおけるモーダル インターチェンジ①	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
8	6月16日	講義・演習	マイナーキーにおけるモーダル インターチェンジ ②	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
9	6月23日	講義・演習	モーダル インターチェンジ コードのコードスケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
10	6月30日	講義・演習	モーダル インターチェンジ コードのアナライズ	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
11	7月7日	講義・演習	ブルースについて	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
12	7月14日	講義・演習	ブルースのコード進行とそのヴァリエーション	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
13	8月25日	講義・演習	ドミナント ファンクションを持たないドミナント セブンスコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して理論を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して理論を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
準備学習 時間外学習			テキスト、ワークブックを用いての予習・復習を中心とした自主学習。図書室に備えられている参考図書やiPadのアプリ等を利用した自主学習を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
テキスト、ワークブック				

科目名	Contemporary Music Theory(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICSメンバーとして様々なコンサート、イベント、Rec参加。多方面で活躍中。						
授業の学習 内容	演奏者、作曲・編曲・制作を行う者に必要な、ハーモニー、及び音楽の仕組みについて講義、ワークブックを通じて学ぶ。						
到達目標	現代のポピュラー音楽を演奏、作曲、編曲、制作を行うにあたって必須となるハーモニーの知識を、実際に演奏・作曲・編曲するレベルまで身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ディミニッシュコードとその種類・機能	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
2	10月13日	講義・演習	ディミニッシュコードの解決	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
3	10月20日	講義・演習	ディミニッシュコードのテンションとコードスケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
4	10月27日	講義・演習	ディミニッシュコードとドミナントセブンスコードの関係	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
5	11月3日	講義・演習	転調の意味と種類	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
6	11月17日	講義・演習	転調の方法	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
7	11月24日	講義・演習	ヴォイスリーディングとガイドーンライン	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
8	12月1日	講義・演習	ペダルポイント	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
9	12月8日	講義・演習	オスティナートについて	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
10	12月15日	講義・演習	コンパウンドコードとその構造・使い方	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
11	1月12日	講義・演習	コンスタントストラクチャー	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
12	1月19日	講義・演習	モーダルハーモニーの紹介	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
13	2月2日	講義・演習	モーダルハーモニーとコーダルハーモニー	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して理論を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して理論を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
準備学習 時間外学習			テキスト、ワークブックを用いての予習・復習を中心とした自主学習。図書室に備えられている参考図書やiPadのアプリ等を利用した自主学習を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
テキスト、ワークブック				